

献血に行こう!

人間の生命を維持するのに欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることができません。さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することもできません。輸血を必要とされている患者さんのために、一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。



献血日
献血会場
受付時間

10月14日(金)
氷川町健康センター
9時30分～11時30分
12時30分～15時30分

※今回は400ml 献血のみとさせていただきます。皆様のご協力をお願いします。

氷川町

※献血カード(手帳)をお持ちの方は、当日ご持参ください。

400mL 献血血液が98%
県内の輸血医療で使用される赤血球製剤の98%は、400mL献血から得られた血液です。

男性は17歳から(女性は18歳から)69歳まで、体重50kg以上
400mL献血は男性は17歳から(女性は18歳から)69歳までご協力いただけます。なお、65歳以上の方の献血については60～64歳の間に献血経験がある方に限られています。また、体重は男女ともに50kg以上となっています。

有効期限は21日間
赤血球製剤の有効期限は21日間と非常に短く、定期的なご協力が必要です。400mL献血は、年間に男性は3回まで、女性は2回までご協力いただけます。

毎日280名の献血が必要です
熊本県内においては、年間約24,000名の患者さんが輸血をされており、患者さんに安定的にお届けするために1日平均280名の献血が必要です。

糖尿病関連検査が加わりました!

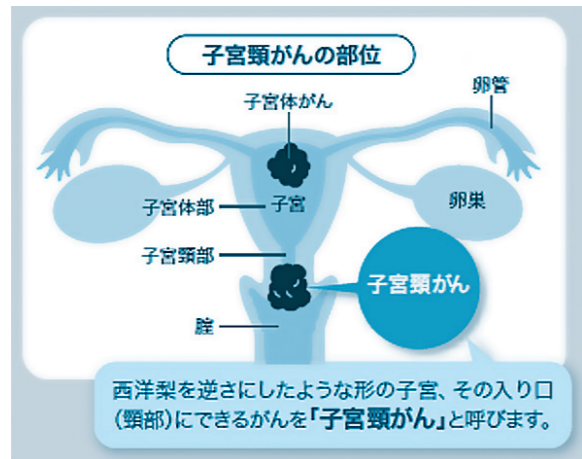
これまでもコレステロールや肝機能などの検査成績をお知らせしていましたが、この度、ご要望の多かった「糖尿病関連検査」が検査項目に加わりました。患者さんのため、またご自身の健康のためにご協力をお願いします。

献血受付中!

子宮頸がん予防をしまじゅり

子宮頸がんとは…?

子宮頸部(子宮の入り口付近)にできるがんで、HPV(ヒトパピローマウイルス)というウイルスの感染が原因です。HPVは、皮膚や粘膜に存在するごくありふれたウイルスで、100種類以上あります。子宮頸がんの原因となるのは、15種類ほどで、「発がん性HPV」と呼ばれます。



西洋梨を逆さにしたような形の子宮、その入り口(頸部)にできるがんを「子宮頸がん」と呼びます。

子宮頸がんを予防できるワクチンがあります

発がん性HPVの中でも、HPV16型、18型の2種類は、その他の発がん

性HPVに比べて、特に子宮頸がんになりやすく、20～30代の子宮頸がん患者から高い頻度で見つかっています。子宮頸がんワクチンを接種することで、このHPV16型、18型の感染をほぼ100%防ぐことができ、海外では100カ国以上で接種されています。

新しい子宮頸がん予防ワクチンが追加されました

平成23年9月15日から、「ガーダシル」(製造販売元/MSD株式会社)も子宮頸がん予防ワクチンとして、公費助成の対象になりました。また、「サーバリックス」(製造販売/グラクソ・スミスクライン株式会社)も引き続き公費助成の対象になります。●「ガーダシル」と「サーバリックス」のどちらかを選ぶべきなのでしょうか? 「ガーダシル」と「サーバリックス」はいずれも子宮頸がんの予防効果があります。医療機関で相談し、接種できるほうを接種してください。

「ガーダシル」と「サーバリックス」は、いずれも同じワクチンを3回続けて接種することになっていますので、片方を接種後にもう片方を接種する場合の効果などは分かっています。1回目に「サーバリックス」を接種した方は、2回目以降も引き続き「サーバリックス」を接種してください。

ワクチンの接種と定期的な検診で予防を

子宮頸がん予防ワクチンは、HPV16型、18型の2つの発がん性HPVの感染を防ぐことができますが、すべての型の発がん性HPVを防ぐものではありません。このため、ワクチンを接種した後も定期的な子宮頸がん検診の受診が必要です。

「ガーダシル」と「サーバリックス」の接種方法は、いずれも3回の接種が必要ですが、接種の間隔が異なります。●ガーダシル: 初回接種から2か月後、6か月後に接種。●サーバリックス: 初回接種から1か月後、6か月後に接種。

●子宮頸がん予防ワクチン接種の対象
中学1年生～高校1年生の女性です。(なお、高校2年生の女性で9月30日までに初回接種を済ませた場合は2回目以降も対象となります。)



●接種できる医療機関
一覧は町ホームページに掲載しています(電話問い合わせ可)。医療機関へご予約の上、接種してください。

●接種時に持っていくもの
予診票と母子健康手帳が必要になります。予診票や母子健康手帳がない方は、健康福祉課にお問い合わせください。また、保護者以外の方が同伴の場合のみ「委任状」が必要です。

●費用
無料です。(15,939円×3回＝47,817円は町負担)

参考: 自分で守ろう。自分のからだ。今日からはじめる子宮頸がん対策

お問い合わせ先
氷川町役場 健康福祉課 保健師

☎ 52-5852